

夏の製品事故の防止に ついで

扇風機の

知っておきたい危険性

いよいよ夏到来。これから暑さを乗り切るための必需品といえば、扇風機です。しかし、扇風機でも、使い方の誤りやメンテナンス不足などで火災などの事故が発生していますので、注意が必要です。製品による事故を防ぎ、扇風機を安全に使用するために、注意すべきポイントを紹介いたします。

製造から長期間経過した古い扇風機にご注意

この夏も節電対策のため、扇風機を使うという人も多いのではないのでしょうか。しかし、扇風機から煙が出たり発火したりする事故が毎年のように発生しています。なかには、家屋の全焼や死亡事故につながった例もありますので、使うときには注意が必要です。特に扇風機の火災事故は、製造から10年以上経っている製品で多く発生しています。

その主な原因は、「経年劣化」で、劣化した部品が使用中に発熱や発火し、火災につながっているのです。経年劣化による事故は、年数が経つにつれて増加する傾向にあります。

扇風機による重大製品事故は、平成20年度から平成29年度までの10年間に162件発生しています。

《主な火災事故原因》

- ・長期使用により、内部配線が首振り機能などで繰り返し折り曲げられることで断線し、スパークが発生し、発火
- ・長期使用により、モーター部品が劣化してスパークが発生し、発火
- ・長期使用により、モーター用コンデンサーが徐々に絶縁劣化し、ショートすることで発熱・発火

扇風機による事故の中には、「動いていないため、スイッチが切れていると思ったが切れていなかった」「スイッチを入れたものの動かなかった」ため、そのままにしていた」ため、事故に至った事例も報告されています。

特に製造から長期間経過した扇風機においては、異常が見られなくても、使用を中止するか、使用しないときは電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、次に挙げるような異常がないか確認してください。次の症状のうち一つでも該当する場合は、すぐに使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜き、メーカーや販売店などに相談しましょう。

《こんな異常に注意》

- ・スイッチを入れても、羽根が回らない
- ・羽根が回っても、回転が異常に遅かったり不規則だったりする
- ・羽根が回転するときに異常な音や振動がする
- ・モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがしたりする
- ・羽根にヒビが入っている
- ・ガードが変形している
- ・電源コードが折れ曲がっていたり破損したりしている
- ・使っている時に電源コードに触れると、羽根が回ったり回らなかったりと不安定である

機は細かく点検し、異常があれば、すぐに使用を中止してください。なお、古い扇風機は部品の劣化が火災の原因になっているため、買い替えをお勧めします。

扇風機やエアコン以外の製品についても、経年劣化や誤った使い方などによって、様々な製品事故が発生しています。消費者の皆さんが製品を安全に正しく使用し、製品事故から身を守るため、経済産業省では、リコール情報などの製品安全に関する様々な情報を「製品安全ガイド」で紹介しています。また、ZICCO（独立行政法人製品評価技術基盤機構）では、製品事故に関する注意喚起チラシやポスター、事故の再現動画などを公表しています。これらの情報を活用し、製品事故から身を守りましょう。

■問い合わせ先

総合政策課
☎(32)8886

統計調査員の登録者募集

国で定期的な実施される各種統計調査を行うため、地域の該当される個人や企業等を訪問する統計調査員を随時募集しています。

■応募資格

- ・20歳以上で、税務・警察・選挙業務に従事しておらず、平日に開催する説明会等に参加できる方
- ・調査で知り得たことなどの秘密を保持できる方

■手当

調査を行っていただいた場合、調査の種類によって異なりますが、概ね3〜5万円程度の手当を支給します。

■応募方法

総合政策課または市ホームページにある応募用紙に必要事項を記入のうえ、提出してください。また、市ホームページの登録申請システムから直接申し込みもできます。

■申し込み・問い合わせ先

総合政策課
☎(32)8886

